



小倉の人気洋食屋さん『サンキュー(9.9.9)』北九州を代表する洋食屋さんの一つ、『サンキュー(9.9.9)』です。いつも沢山のお客様で賑わう、老舗洋食レストランです。今は二代目のオーナーシェフが切り盛りしており、お昼時ともなると、行列ができる人気のお店です。(毎週火曜日は定休日)

2020年8月現在

南小倉の歴史と紫川流域を訪ねて

南小倉駅 スタート・ゴール

距離 約7.0km

緊急連絡先 南小倉駅 093-561-0020

- 必ず準備運動を行いましょう。
- 自分のペースで歩きましょう。
- ウォーキング中の負傷等については責任を負いかねます。ご了承ください。
- 歩道が無い場所もありますので、お車には十分ご注意ください。
- 体調が良くない時は、無理をしないようにしましょう。
- 休業日や営業時間など、施設により変更の可能性があるため必ず最新情報をご確認ください。

スタート

南小倉駅

ゴール

清水寺



創立は、大宝3年(703)で聖武天皇の勅願所として、豊前国企救の御堂と呼ばれていました。当初は、現在地から南の高所にあったと伝えられている真言宗のお寺です。

慶長7年(1602)小倉城の築城に際し、藩主細川忠興は、城の裏鬼門に当る現在地に、寺院を建立し本尊観世音菩薩(千手観音菩薩)を移しました。寛永9年(1632)入国した小笠原忠真も深く帰依し、本堂、弁才天堂等7堂を新築し祈願所としました。

到津八幡神社



安産と成長守護の神として祀られ、到津八幡神社の歴史はまことに古く、神功皇后が三韓征伐の後、宇美の里で御子応神天皇をお産みになり豊浦宮へお帰りの時、御座船を当地に着けられました。後に一祠を建て皇后の和魂をお祀りしたのが当社の起源と言われています。

神功皇后の御霊をお祀りしたことから、人々は安産を願うようになりました。社前の川水(板櫃川)を汲み、産湯として使われるようになったといわれています。

イビツガワコセンジョ 板櫃川古戦



奈良に都が移って20年余りが経つと、全国で伝染病が流行し、天災が起きるなどして世の中は不安になっていきました。

大宰府を治めていた藤原広嗣は、これらが朝廷の役人の責任だと考え、740年(天平12年)、九州で戦いを起こしました。それに対して、17,000人の朝廷軍は関門海峡を渡り、板櫃川を挟んで10,000人の広嗣軍と向かい合いました。この板櫃川での戦いは朝廷軍が大勝し、広嗣はつかまって殺されました。

篠崎八幡宮



仲哀天皇九年神功皇后三韓から御凱旋の折り、筑紫の宇美にて皇子(応神天皇)を御安産になりました。その翌年穴門の豊浦宮にお向かいになる途中、鷹尾山(当神社の西方約一千メートルに在った山)にお登りになり、山頂の大石(後に此の石を力石という)に皇子をお立たせし、遙に菊の長浜や文字ヶ関・穴門(現在の門司・下関)の方向を望み、「穴門が近し」と仰せられ、お懐かしみになりました。この古事にもとずき、敏達天皇十二年勅命を以て鷹尾山の麓に祠廟を建て応神天皇をお祀り申し上げました。これが篠崎神社の起源となっております。



TOTOミュージアム



TOTOミュージアムは説明パネルを見ながら自由にご見学いただけます
開館時間 10:00~17:00(入館は16:30まで)
休館日 月曜日・夏期休暇・年末年始(12月28日~1月4日)
入場料 無料
※都合により会館時間、休館日を変更することがありますので、ご了承ください。